

# 平成31年1月 全国百貨店売上高概況

平成31年2月21日

## I. 概況

1. 売上高総額	4,927億円余
2. 前年同月比	-2.9% (店舗数調整後/3か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	79社 218店 (平成30年12月対比-1店)
4. 総店舗面積	5,482,600㎡ (前年同月比:-3.7%)
5. 総従業員数	67,710人 (前年同月比:-4.3%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	6-8月 -1.3%、7-9月 -3.4%、8-10月 -0.4%、 9-11月 -0.6%、10-12月 0.0%、11-1月 -1.3%

[参考] 平成30年1月の売上高増減率は-1.2% (店舗数調整後)

### 【特徴】

1月の売上高は2.9%減(3か月連続マイナス)となった。米中摩擦等海外要因による先行き懸念や株価の変調で消費心理が冷え込み、初商・クリアランスセールが不振だったことに加え、好調に推移してきたインバウンドも、主力中国の景気減速や免税品規制強化で苦戦した。下旬のウィンター バザールで一部盛り返したものの前半の不振を挽回するには至らなかった。

顧客別では、国内市場(シェア94.7%)は2.6%減とマイナス。インバウンド(シェア5.3%)も上記要因の影響等から急伸基調に一服感が出て、7.7%減と26か月ぶりに前年割れした。

地区別では、10都市が3.1%減と2か月連続マイナス。地方(10都市以外の地区)は2.5%減(21か月連続)と双方共にマイナスが続くが、当月は、富裕層やインバウンドの寄与度が高い10都市の不振が強く出たことで、地方との伸び率格差は21か月ぶりに逆転した。

商品別では、化粧品が0.3%増と46か月連続でプラスしたが、雑貨トータルでは0.8%減と26か月ぶりにマイナスした。コート等重衣料の動きが鈍かった衣料品は5.2%減、身のまわり品も2.4%減と苦戦した。食料品は1.2%減と3か月連続でマイナスしたが、菓子は0.1%減とほぼ前年並み。物産展など人気の食品催事は堅調だった。

なお、下旬に加盟150店舗が参加し業界をあげて実施した『プレミアム ウィンター バザール』では、独自企画との連動で集客や売上に寄与した店舗も見られた。

### 【要因】

(1) 天候： 気象庁発表「1月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇東日本以南では暖かい空気に覆われやすく、寒気の南下が弱かったため、東・西日本では気温が高く、東・西日本日本海側の降雪量はかなり少なくなった。また北・東日本太平洋側と西日本日本海側では、降水量がかなり少なくなった。

(2) 営業日数増減 30.0日(前年同月比 ±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日( // ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数127店舗)

①増加した：34店、②変化なし：42店、③減少した：51店

(5) 1月歳時記(初売り、クリアランス)の売上(同上/有効回答数80店舗)

①増加した：4店、②変化なし：37店、③減少した：39店

# 全国百貨店 売上高速報 2019年1月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後( )が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>全国</b>	<b>492,705,170</b>	<b>100.0</b>	<b>-2.9 (-4.5)</b>
<b>10都市</b>	<b>346,760,307</b>	<b>70.4</b>	<b>-3.1 (-3.4)</b>
札幌	14,151,590	2.9	-1.1
仙台	7,033,346	1.4	-1.3
東京	132,893,951	27.0	-2.9
横浜	29,636,255	6.0	-3.2
名古屋	31,845,763	6.5	-1.2 (-5.1)
京都	20,693,854	4.2	-3.2
大阪	69,647,223	14.1	-3.8
神戸	12,166,084	2.5	-7.9
広島	10,343,653	2.1	-5.3
福岡	18,348,588	3.7	-2.1
<b>10都市以外の地区</b>	<b>145,944,863</b>	<b>29.6</b>	<b>-2.5 (-6.8)</b>
北海道	1,848,871	0.4	22.5
東北	6,868,557	1.4	-2.3 (-11.4)
関東	63,720,006	12.9	-3.8 (-11.2)
中部	11,347,796	2.3	-1.5 (-2.2)
近畿	19,315,863	3.9	-1.6 (-4.6)
中国	10,796,438	2.2	-5.2
四国	8,229,782	1.7	-3.8
九州	23,817,550	4.8	-0.2

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>総 額</b>	<b>492,705,170</b>	<b>100.0</b>	<b>-2.9 (-4.5)</b>
紳士服・洋品	39,348,530	8.0	-3.9 (-5.4)
婦人服・洋品	111,078,925	22.5	-5.4 (-6.9)
子供服・洋品	11,296,072	2.3	-8.9 (-10.0)
その他衣料品	10,592,391	2.1	-4.2 (-7.6)
<b>衣 料 品</b>	<b>172,315,918</b>	<b>35.0</b>	<b>-5.2 (-6.8)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>71,958,187</b>	<b>14.6</b>	<b>-2.4 (-4.0)</b>
化粧品	43,176,306	8.8	0.3 (-0.5)
美術・宝飾・貴金属	25,611,743	5.2	-2.2 (-3.5)
その他雑貨	18,298,467	3.7	-1.3 (-4.0)
<b>雑 貨</b>	<b>87,086,516</b>	<b>17.7</b>	<b>-0.8 (-2.2)</b>
家 具	4,485,689	0.9	-4.2 (-7.0)
家 電	892,520	0.2	-8.6 (-8.8)
その他家庭用品	14,061,593	2.9	-2.7 (-4.3)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>19,439,802</b>	<b>3.9</b>	<b>-3.3 (-5.2)</b>
生 鮮 食 品	21,330,140	4.3	-3.9 (-5.4)
菓 子	33,783,659	6.9	-0.1 (-1.3)
惣 菜	26,450,153	5.4	-1.0 (-1.9)
その他食料品	34,556,482	7.0	-0.8 (-2.9)
<b>食 料 品</b>	<b>116,120,434</b>	<b>23.6</b>	<b>-1.2 (-2.7)</b>
食 堂 喫 茶	12,322,475	2.5	-3.0 (-4.6)
サ ー ビ ス	3,951,201	0.8	-12.8 (-14.7)
そ の 他	9,510,637	1.9	2.2 (0.7)
<b>商 品 券</b>	<b>7,017,547</b>	<b>1.4</b>	<b>-7.0 (-7.9)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

- |                  |                            |
|------------------|----------------------------|
| 1. 10都市売上動向      | - 3.1% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)  |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | - 2.5% (店舗数調整後/21か月連続マイナス) |

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>- 3.1</b>	<b>- 2.2</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
札幌	- 1.1	- 0.0	3か月ぶりマイナス
仙台	- 1.3	- 0.0	2か月連続マイナス
東京	- 2.9	- 0.8	2か月連続マイナス
横浜	- 3.2	- 0.2	2か月ぶりマイナス
名古屋	- 1.2	- 0.1	4か月ぶりマイナス
京都	- 3.2	- 0.1	2か月ぶりマイナス
大阪	- 3.8	- 0.5	4か月ぶりマイナス
神戸	- 7.9	- 0.2	3か月連続マイナス
広島	- 5.3	- 0.1	3か月連続マイナス
福岡	- 2.1	- 0.1	6か月ぶりマイナス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>- 2.5</b>	<b>- 0.7</b>	<b>21か月連続マイナス</b>
北海道	22.5	0.1	2か月ぶりプラス*
東北	- 2.3	- 0.0	17か月連続マイナス*
関東	- 3.8	- 0.5	7か月連続マイナス
中部	- 1.5	- 0.0	7か月連続マイナス
近畿	- 1.6	- 0.1	4か月ぶりマイナス
中国	- 5.2	- 0.1	10か月連続マイナス*
四国	- 3.8	- 0.1	3か月連続マイナス
九州	- 0.2	- 0.0	3か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、26か月ぶりに全品目がマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が46か月連続のプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-2.9</b>	<b>-</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	-3.9	-0.3	7か月連続マイナス
婦人服・洋品	-5.4	-1.3	3か月連続マイナス
子供服・洋品	-8.9	-0.2	7か月連続マイナス
その他衣料品	-4.2	-0.1	39か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-5.2</b>	<b>-1.9</b>	<b>7か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-2.4</b>	<b>-0.3</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
化粧品	0.3	0.0	46か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-2.2	-0.1	5か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-1.3	-0.0	4か月ぶりマイナス
<b>雑貨</b>	<b>-0.8</b>	<b>-0.1</b>	<b>26か月ぶりマイナス</b>
家具	-4.2	-0.0	2か月連続マイナス
家電	-8.6	-0.0	5か月連続マイナス
その他家庭用品	-2.7	-0.1	34か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-3.3</b>	<b>-0.1</b>	<b>37か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-3.9	-0.2	3か月連続マイナス*
菓子	-0.1	-0.0	4か月ぶりマイナス
惣菜	-1.0	-0.1	3か月連続マイナス*
その他食料品	-0.8	-0.1	3か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-1.2</b>	<b>-0.3</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-3.0</b>	<b>-0.1</b>	<b>21か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-12.8</b>	<b>-0.1</b>	<b>14か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>2.2</b>	<b>0.0</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
<b>商品券</b>	<b>-7.0</b>	<b>-0.1</b>	<b>95か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>